

Medtec Japan 2022 に横浜パビリオンを出展します

横浜市及び(公財)横浜企業経営支援財団(以下「IDEC 横浜」)は、健康・医療分野の革新的な製品・技術・サービスの創出を推進する「LIP.横浜」とIoT分野の新ビジネス創出を推進する「I・TOP 横浜」の2つのプラットフォームのネットワークを活用し、デジタルヘルスケア分野における中小企業・スタートアップ企業の取組を積極的に支援しています。

その一環として、東京ビッグサイトで開催される「Medtec Japan 2022」に横浜パビリオンを出展し、市内企業11社のヘルスケア領域におけるビジネス創出を支援します。

1. Medtec Japan 2022 の概要

- (1)会期：2022年4月20日(水)～4月22日(金)
- (2)会場：東京ビッグサイト 東展示場
- (3)主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン 株式会社
- (4)出展社数：290社(4月8日時点)

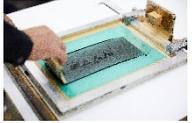
2. 「横浜パビリオン」概要

- (1)出展小間：#805 6小間(54㎡)
- (2)出展企業および製品概要：



横浜パビリオン ブースイメージ図

<p>1 株式会社アルファテック (緑区)</p>	
<p>お客様オリジナルの部材や治具調達を可能にする「小径ワイヤー・ピン・パイプなどの受託加工」</p>	
<p>2 エイシン電機株式会社 (保土ヶ谷区)</p>	
<p>新型コロナウイルス不活性化(99.9%)実証済みの冷陰極管UVランプを使用した、卓上型除菌庫「じよきんくん」</p>	
<p>3 株式会社エネブルーム (都筑区)</p>	
<p>「除菌消臭装置からファシリティールームまで」幅広い分野のグリーン製品をご提案。</p>	
<p>4 サクラテック株式会社 (港北区)</p>	
<p>サクラテック株式会社で開発した miRadar(r)8《Handy》は、非接触で複数人の生体情報(心拍数、呼吸数)をレーザーで監視いたします。衣服・毛布を通して生体情報が検出できます。</p>	
<p>5 サルーステック株式会社 (金沢区)</p>	
<p>耳から信号を拾うワイヤレスヒアラブルデバイスとスマートホンアプリと筋電検出デバイス。</p>	

6 株式会社スリーハイ (都筑区)	
世界初の産業向け繊維発熱体 新ブランド「&FIBERS」	
7 株式会社ツジマキ (南区)	
金属、プラスチック、ガラス、陶器、革、木など。様々な素材や目的に合わせた最適な印刷方法をご提案します。	
8 株式会社テレメディカ (青葉区)	
聴診教育のための仮想空間シミュレータ iPax と聴診専用スピーカ聴くゾウを使うと、オンラインでも聴診実習、血圧測定演習が実施できます。	
9 ピンポイントフォトニクス株式会社 (中区)	
お手持ちの光学顕微鏡で試料へのレーザー照射。XY ステージとカメラ連携システムで正確な細胞観察。	
10 株式会社ファーマビヨンド (西区)	
血糖値管理をもっと身近に、もっと健康に。「非侵襲的血糖値測定機器」	
11 MedVigilance 株式会社 (西区)	
アプリ連動型ウェアラブルデバイス『LANCEBAND 3 』や、重量わずか 260g の超小型筋膜リリースガン「HealthUs」	

LIP 横浜とは…



横浜から、健康・医療分野（※）のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。

LIP横浜では、企業・大学・研究機関で構成するネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、新技術・新製品の創出にチャレンジするベンチャー企業・中小企業等の皆様を応援するため、様々な取組を行っています。

（※）健康・医療分野：創薬、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康サービスなど

I TOP 横浜とは…



横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。

これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

デジタルヘルスケアサポート拠点



デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。この拠点では、IoT 分野の I・TOP 横浜と健康・医療分野の LIP.横浜の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団および横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

■ 場所

横浜市中区尾上町 1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

■ 利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

■ 主な支援内容

- ・相談対応・伴走支援、マッチング支援、展示会出展などの販路開拓支援
- ・論文や調査レポートなどの閲覧
- ・デジタルヘルスケア分野を含むヘルスケア分野参入セミナーなどのイベント開催

■ 利用方法

利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

■ お問合せ先

デジタルヘルスケアサポート拠点事務局
healthcare@idec.or.jp



お問合せ先	
横浜市経済局産業連携推進課担当課長	松本 圭市 Tel045-671-3591
公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部長	加藤 盛司 Tel045-225-3733

※本件は、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会及び横浜経済記者クラブに同時発表しています。